

MADパフォーマンスのデバッグ

ドロップや不具合が発生した場合は、まず、コンピュータが DPC Latency の影響を受けていないかどうかを確 認してください。Windowsも適切に構成されている必要があります。Windows構成ガイドを参照してください。

MAD Debug Mode

MAD Debug Zip file をダウンロードして解凍後、MAD-DebugEnable.reg をダブルクリックしてください。再起 動後、MADパネルに新しいアイコンが2つ表示されます。

手順

1. パネルの一番下にあるアイコンをクリックするとグラフが表示されます。

	Click <u>her</u>	Version: Click <u>here</u> to access MAD online documentation			
		-	Advance	ed Settings >	»>
ディスプレイにフィ	パットするように	リサイズして	ください。		-
Arging RAVENNA ASIO Monitoring		History Site			
- }		Theory size			
o/TIC Jitter					
lora					_
200					
ðil					
0m 10 God_min 1.022[ms] God_avg: 1.082[ms] God Discuss: 2.182[ms] Use_DC wire 2.185[ms]	max: 1.144[ms] Go1 min: 4294987 500[ms]	Gol avg 0.000[ms] Gol max 0.000[ms]	4 #Go_min: 1.032(ms) #Go_avg: 1/	3 2 087[ms] ■ #Go_max: 1.144[ms] ■ Ti	C_min: 2.173[ms] TIC
udio Engine Load	Caerrojing 2. rojing 🖉 Gaerrojina: 2.200jina		ang anadina; 🔤 nojunarjana: arangi		
37					
112%					
75%					_
7					
		~ ~ ~ ~ ~	~ ~ ~		
0% 10 10 AudioEngine: 2.71/4.50%	9 8 7	6 5	4	3 2	1
ulti Client ASIO Load					
30%					
1125					
75			~		-
			~~~~~,		
	n				
0% T 10	5 <u>8</u> 7	0 5	4	3 2	

### 2. Go/TC Jitter グラフ

このグラフは ASIO クロックを表示しており、安定しているはずです。



ASIO CLOCK(Go) は、1.0ms(AES67) または 1.33ms(Ravenna) に近いはずです。



. dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp



バッファタイミング(TIC)は、MADで設定したバッファサイズにより変化します。例:AES67で Bufferを 48 に設定している場合は 1ms: Buffer を 96 に設定している場合は 2ms: Buffer を 192 に設定して いる場合は 4ms...

Ahead Time は Input にリンクしており、入力が接続されている場合にのみ値が表示されます。少なく とも1つの入力が接続されている場合は、TICと同じになります。

このグラフに問題が表示される場合は、イーサネットアダプタからデバイスまでのネットワークの設定と パス全体(ケーブルやネットワークスイッチを含む)を確認してください。

### 3. Audio Engine load

Audio Engine load は オーディオ フレーム内のドライバーのアクティビティを表しています。 MAPパネ ルで、Mix Safe モードが Disable になっていない場合以外、とても低いはずです。 このグラフで問題が表示される場合、MADパネルで Mix safe mode オプションを Enable に設定して ください。

#### 4. MultiClient ASIO Load

実行中の各アプリケーションに必要なさまざまな負荷と、その他の MAD 内部プロセス(バッファ スイッ チ、準備、プロセス、ミックス)を表示します。

負荷が高すぎる場合は、アプリケーションを減らすか、MAD パネルでバッファ サイズを増やしてくださ い。



不連続性がある場合は、アプリケーションがオーディオ プロセッシングを停止している可能性がありま す。アプリケーションの設定を確認し、MAD Latency と Buffer size を調整してください。

- 5. MAD パネルとデバッグ グラフのスクリーンショット、RAVENNA/AES67 デバイスとファームウェア バージョン、必要に応じて追加のコメントをお送りください。
- 6. 終了したらグラフ ウィンドウを閉じて、MAD-DebugDisable.reg ファイルをダブルクリックしてください。 このデバッググラフは電力を使用しています。

注: MAD パネルでパラメーターを変更すると、グラフには明らかに大きく変動する値が表示されます。

一部の調査では、サポート チームからデバッグ ログ セクション(左側のアイコン)を開くように要求される場合が あります。

指示をお待ちください。調査が完了したら、必ずデバッグモードを無効にしてください。







Solution of the second state of the second sta T : 03-5723-8181 F : 03-3794-5283 U : http://www.dspj.co.jp